

イベント業界のSDGs、Well Beingに向けた原点回帰と 社会システム構築への展望に関する一考察

大阪大学サイバー・メディアセンター招聘研究員

貝 辻 正 利

キーワード； ユニバーサル共生型イベント、社会福祉団体、SDGs、Well Being

【1】研究の背景

二極化に伴う緊迫した国際情勢、国内でも不透明な経済情勢下での少子高齢化の進展に伴う社会福祉の必要性、東京オリ・パラ 2020 を巡る汚職被疑事件、拡大自殺や暗殺等が発生する治安情勢とコロナ禍での安全管理の教訓等、イベントの本質に関わる要素が多く、イベント業界でも国際的要請に応えながら社会情勢に対応すべく原点回帰と再検討、そして実践を模索すべき時と考える。その意味で第 25 回イベント学会研究会開催趣旨「省エネ等持続可能性を追求する(SDGs)」及び「イベントに豊かさを感じる(Well Being)」について時宜を得たものと全面的に支持し標記の一考察を提唱する。

【2】21 世紀型イベントに向けたイベントの原点回帰に関する一考察

社会情勢に対応するイベント業界の現状を分析すれば原点回帰すべき課題は三点ある。

第 1 の課題は、「なに人にも”参加可能な環境づくり」である。イベントの原点は「なに人にも幸せを享受して頂く」（人の心を豊かにする）である。お客様を民族・世代・国籍・各種障害の有無・セクシャリティ等々価値観が多種・多様化する社会を背景に対応して「これまでもイベントに参加したくともできない環境にあった人々」に参加機会を持っていただく“方策”と実践する“企画や技術開発”が課題となる。

第 2 の課題は、主催者やイベント企画者の目線である。具体的には、特にサービス面でおお客様目線に立つ思考に立脚したイベントであるか否かである。これは“幸せ”や“心の豊かさ”という多種多様でしかも目には見えない事象に対するイベント主催者や企画者などイベント関係者の意識変革への挑戦と言う課題である。

第 3 の課題は、安全管理である。コロナ禍の安全管理分野の教訓は「安全の見える化」であり、テロ等防止である。主催者責任の原点に立ち返って「安心・安全・快適」の安全三要素に向けた具体的な検討項目を明確に示して実践することが課題となる。

【3】課題に対応する社会システム構築に関する一考察

1. 社会福祉団体等、イベント関係団体の活動概要と課題克服方策に関する一考察

社会福祉団体等では、少子・高齢者・傷病者・各種障害者等社会福祉側面や外国人など多種・多様化する価値観に対応する施策を推進する各種団体が設立され、団体数は約 2 万で、各分野ごとに研究・実践されて専門的なノウハウが蓄積されている。イベント業界でも中央組織である JIE、JACE 等イベント 5 団体や JSSA の活躍があつてイベント産業界の隆盛に寄与した実績がある。これらの団体が蓄積するノウハウの情報交換と共有、そして共通する分野で融合して協働する社会システムを構築することである。

社会福祉団体等及びイベント関連団体（例示）は図 2. 及び図 3. である。

2. 社会システム構築へのプロセス

第1段階は、社会福祉団体等とイベント関係団体の情報交換による相互のノウハウの共有を図ることであり、第二段階は、協働可能な項目を融合して協働化に結び付け社会システムとして構築することである。（課題 3. については別途報告者間所氏参照）

3. 企画・技術の開発に関する一考察

AR（各超現実）、VR（仮想現実）、そして meta-verse（3次元の仮想現実）など IT と DX 発展による企業活動の活性化と日常生活をより便利で快適にするための“企画や技術開発”により広く共生を図るイベント業界の課題克服は可能である。

【4】ユニバーサル共生型イベント（仮称）の効果

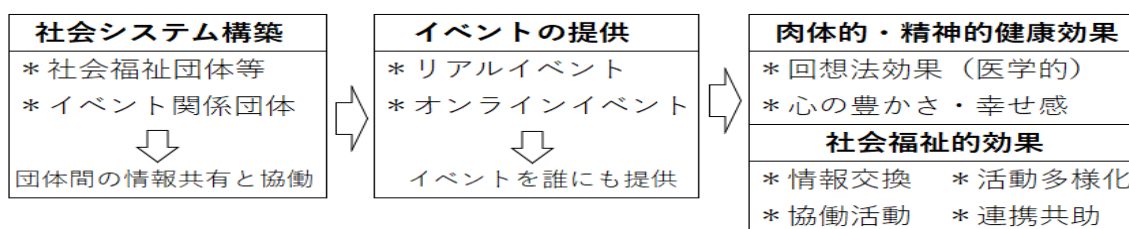


図1. ユニバーサル共生型イベント効果図

団 体 名（例示）	代表者	設 立 趣 旨	資格
(福) 全国社会福祉協議会 全社協	会長 清家 篤	* 社会福祉法に基づき各自治体に設置された非営利法人 地域住民・社福関係者による地域活動の中核組織	有
(公財) 日本ケアフィット共育機構	代表理事 畑中 稔	* 誰もが暮らしやすい共生社会の実現を理念に、幅広い 階層に「あらゆる場面でケアフィットする」を使命	有
(一社) 日本高齢者住宅協会 高住協	会長 竹中宣雄	* 高齢者の住生活、福祉との連携等高齢者向け住宅運営 者サービス向上など調査研究・情報交換・提言を行う	有
(一社) 全日本ろうあ連盟	理事長 石野富志三郎	* ろうあ者の人権尊重文化水準の向上を図り福祉の増進 を目的とし社会的自立の環境整備を図る	有
(一社) 日本認知症予防協会	代表理事 佐々木 誠	* 認知症のケア、軽度認知症（MCI）早期発見・予防を 図ることを目的とする	有
(福) 視覚障害団体連合	会長 竹下義樹	* 障害者自身の手で”自立と社会参加”の実現を目的 * 視覚障害者施策にニーズを反映させる	有
(公財) 日本知的障害者福祉協会 ASP		会員登録の必要あり	有

図2. 社会福祉関係団体例示

団 体 名	代表者	設 立 趣 旨	資格
(一社) 日本イベント産業振興協会 JACE	代表理事 石井直	* 地域・企業・団体等が催す各種イベント等イベント産 業の振興により国民生活と国際交流を促進する。	有
日本イベント業務管理士協会 JEDIS	名誉会長 平野暁臣	* 公的資格所持者が自らの職能確立とイベン トの発展への貢献を目的にした非営利法人	有
日本イベントネットワーク協会 JENA	会長 長谷川憲	* イベント現場に関わるイベント機材開発、レンタル業 務の会員情報交換等でイベントの質的向上を図る。	
イベント学会 JIE	会長 中村利雄	* イベントに関する情報や知識ノウハウを集積し、社会 的価値、技法を調査研究開発し成果を社会に還元する	
(一社) 全国警備業協会 JSSA	会長 中山泰男	* 犯罪の多発する社会情勢下で、警察の補完的役割と 社会生活サポート等の責任を果たすべく教育訓練実施	有
(公財) 日本スポーツ施設協会 JSFA	会長 大東和美	* 我が国の体育・スポーツ施設の充実及び効果的運営の 促進を図り、国民の健全な発達・人間性の涵養に寄与	有
(一社) 日本イベント協会 JEVA	会長 清水卓治	* イベント専門家集団として業界の横断的な課題に主体 的に取り組み、関連業界に結束と国際化につなぐ	

図3 イベント関係団体例示

以上